

平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成24年3月2日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ダイサン

コード番号 4750 URL <http://www.daisan-g.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三浦 基和

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理財務課リーダー

(氏名) 沖中 孝充

TEL 06-6243-6341

四半期報告書提出予定日 平成24年3月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の業績(平成23年4月21日～平成24年1月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	6,049	20.2	456	354.4	457	352.1	330	467.6
23年4月期第3四半期	5,030	13.5	100	—	101	—	58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	43.64	—
23年4月期第3四半期	7.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第3四半期	7,190	4,866	67.7	643.18
23年4月期	6,553	4,604	70.3	608.60

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 4,866百万円 23年4月期 4,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年4月期	—	5.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年4月21日～平成24年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	15.3	520	123.3	500	114.7	400	64.1	52.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期3Q	7,618,000 株	23年4月期	7,618,000 株
② 期末自己株式数	24年4月期3Q	52,040 株	23年4月期	52,040 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期3Q	7,565,960 株	23年4月期3Q	7,565,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後の復旧がすすむにつれ、一部では緩やかに持ち直しがみられたものの、円高基調が続く中で、欧州の債務危機を主因とする世界的経済の減速懸念が強まるなど、輸出環境の悪化により景気回復に向けた勢いをそぐ状況になっております。

当社に関連の深い住宅・建築業界におきましては、先の大震災による一時的な低迷から一旦立ち直りはしたものの、昨年秋口以降は需要が落ち込み住宅着工戸数が前年を下回る状態になっております。

このような状況の中、当社は平成23年2月厚生労働省の認定を受けた『社内検定制度ビケ足場施工』を核としたサービス品質向上と住宅足場の手すり先行工法『ビケ足場B X工法[®]』の普及に努め、安全・安心・感動の施工サービスの提供に努める傍ら、事業のコスト構造の改善に取り組んでまいりました。

また、製商品販売事業においては、住宅・建築業界の復旧需要に加え、グループ事業として施工品質改善の取り組みや市場創造努力などが奏功し、部材の販売が大きく伸張しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,049百万円（前年同期比20.2%増）となり、収支面でも前年と比較すると大幅に改善が見られ、営業利益456百万円（前年同期比354.4%増）、経常利益457百万円（前年同期比352.1%増）、四半期純利益は330百万円（前年同期比467.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、大手得意先の受注回復により、売上高は3,880百万円（前年同期比1.6%増）、売上総利益は687百万円（同8.6%増）となりました。

②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、ビケ部材を中心に受注が堅調に推移し、売上高は2,086百万円（前年同期比84.9%増）、売上総利益は764百万円（同94.5%増）となりました。

③その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は82百万円（前年同期比1.4%減）、売上総利益は46百万円（同11.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加586百万円等により前事業年度末に比べ636百万円増加の7,190百万円となりました。

有利子負債は新規社債の発行等により前事業年度比136百万円増加の913百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ261百万円増加の4,866百万円となり、自己資本比率は67.7%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期の業績予想に関する事項につきましては平成23年11月17日公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」

（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.7%から、平成24年4月21日に開始する事業年度から平成26年4月21日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については38.0%に、平成27年4月21日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は5,524千円減少し、法人税等調整額は4,859千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月20日)	当第3四半期会計期間 (平成24年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,399	1,422,657
受取手形及び売掛金	1,524,121	2,110,903
たな卸資産	558,727	714,834
その他	588,315	496,379
貸倒引当金	△19,476	△24,544
流動資産合計	4,112,087	4,720,230
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,450,583	1,450,583
その他(純額)	343,366	332,683
有形固定資産合計	1,793,949	1,783,267
無形固定資産		
投資その他の資産	156,177	173,522
その他	524,683	544,171
貸倒引当金	△33,424	△30,958
投資その他の資産合計	491,259	513,212
固定資産合計	2,441,386	2,470,002
資産合計	6,553,473	7,190,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,653	657,894
1年内償還予定の社債	180,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	130,300	33,000
未払法人税等	30,504	116,543
賞与引当金	110,107	89,761
その他	374,555	391,967
流動負債合計	1,334,121	1,549,166
固定負債		
社債	450,000	620,000
長期借入金	16,300	—
役員退職慰労引当金	81,800	86,400
資産除去債務	50,125	50,927
その他	16,516	17,455
固定負債合計	614,741	774,782
負債合計	1,948,863	2,323,948

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月20日)	当第3四半期会計期間 (平成24年1月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	3,387,037	3,641,588
自己株式	△14,962	△14,962
株主資本合計	4,588,694	4,843,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,915	23,038
評価・換算差額等合計	15,915	23,038
純資産合計	4,604,610	4,866,284
負債純資産合計	6,553,473	7,190,233

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月21日 至平成23年1月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月21日 至平成24年1月20日)
売上高	5,030,820	6,049,209
売上原価	3,952,332	4,550,698
売上総利益	1,078,487	1,498,510
販売費及び一般管理費	977,960	1,041,756
営業利益	100,527	456,753
営業外収益		
受取利息	601	1,655
受取配当金	8,025	8,296
受取賃貸料	4,633	5,147
その他	6,468	9,641
営業外収益合計	19,728	24,741
営業外費用		
支払利息	10,555	6,772
社債発行費	—	10,234
支払保証料	3,853	3,544
その他	4,692	3,577
営業外費用合計	19,101	24,128
経常利益	101,153	457,366
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,096	—
特別利益合計	14,096	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,679
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,273	—
その他	7	—
特別損失合計	34,280	1,679
税引前四半期純利益	80,970	455,686
法人税、住民税及び事業税	17,059	111,291
法人税等調整額	5,730	14,184
法人税等合計	22,789	125,475
四半期純利益	58,180	330,210

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成22年4月21日 至 平成23年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,818,389	1,128,382	4,946,772	84,048	5,030,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,818,389	1,128,382	4,946,772	84,048	5,030,820
セグメント利益	633,414	393,144	1,026,558	51,928	1,078,487

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成23年4月21日 至 平成24年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,880,227	2,086,140	5,966,368	82,840	6,049,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,880,227	2,086,140	5,966,368	82,840	6,049,209
セグメント利益	687,937	764,553	1,452,491	46,019	1,498,510

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第3四半期累計期間における生産高は、前年同期と比べ13億26百万円増加(149.0%増)しており、これに伴い販売高は前年同期と比べ9億38百万円増加(89.7%増)しております。なお、金額は販売価格によっております。